

自然と人間 モダンダンスに込めて

藤田佳代舞踊研究所(神戸市東灘区)の向井華奈子さんが3回目のモダンダンスリサイタルを26日午後6時から、神戸ファッション美術館オリーブホール(同区向洋町中2)で開く。自然と人間の関係に思いをはせた新作を披露する。

向井さんは2021年末、国連のアントニオ・グテレス事務総長が「地球温暖化は人災」だと演説するのを聞いた。「誰もが頭では理解し、気にしているが、目をそらしている。この問題をテーマにした作品を形にすることで自分なりの問題提起をしたい」と創作。「時の庭―交錯する空間」というタイトルで、構成、演

神戸の藤田佳代舞踊研究所
向井華奈子さん



文化

衣装を手に創作の
意図を語る向井華
奈子さん(神戸市
東灘区住吉本町1

26日、神戸でリサイタル「観客の心に届けたい」

出、作舞を担う。

出演者はそれぞれ月、太陽、花、地中の生物などの役で登場。「それぞれ、存在するだけで地球と調和している」。その中で人間だけが戦争をし、環境を破壊し続ける。唯一、自然の一部としては存在し得ない「人」の役を向井さん自身が担う。

だが「人間も自然に内包されると考えれば利己的にならず、争いも起こらないのでは」と考えた向井さん。般若心経にある「観自在」という言葉からも想像を膨らませたといい、真言宗の僧侶が「時を刻む者」として登場、声明のライブとダンスとでコラボする。

作品の意図に賛同した衣装デザイナーの鷲尾華子さん(京都市在住)が、天然素材で染色した絹の衣装を提供する。

向井さんは「地球への讃歌として声明が響く中、ダンスが祈りとなって観客の心に届けば」と話している。前衛書家、和田彩さんの書作に着想を得て藤田佳代さんが作った「雨」も上演する。

前売り3千円、当日3500円。
同舞踊研究所 ☎078・8222・2069、メール fkmnds@muf.ti
globe.ne.jp (片岡達美)